

# 地球環境問題:地球温暖化対応

## 温室効果ガス(GHG)排出量

	万t-CO <sub>2</sub> e			
	2020年度	2021年度*2	2022年度*2	
スコープ1	1,069	379	340* <sup>※1</sup>	事業者の燃料使用等による直接GHG排出量
スコープ2	58	52	42* <sup>※1</sup>	他社から供給を受けた電気、熱の利用により発生した間接GHG排出量
スコープ3	1,346	1,341	1,223	調達、物流および製品の加工・使用・廃棄などのサプライチェーン全体で間接的に排出されるGHG排出量
合計	2,473	1,772	1,605	

\*1 ★印は第三者検証による保証を受けた数値です。詳細は保証書(P14掲載)をご参照下さい。

\*2 2021年度以降のデータは、旧建設資材カンパニーを含まない集計データです。

### スコープ3の 카테고리別内訳

カテゴリ	万t-CO <sub>2</sub> e		
	2020年度*1	2021年度	2022年度
1 購入した製品・サービス	204	308	249
2 資本財	10	4	7
3 Scope1&2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	46	35	30
4 輸送・配送(上流)	70	16	14
5 事業から出る廃棄物	1	2	4
6 出張	0	0	1
7 雇用者の通勤	0	1	1
8 リース資産	0	0	0
9 輸送・配送(下流)	54	7	7
10 販売した製品の加工	18	45	46
11 販売した製品の使用	765	151	163
12 販売した製品の廃棄	176	110	91
13 リース資産(下流)		対象となる活動なし	
14 フランチャイズ		対象となる活動なし	
15 投資	2	662* <sup>※2</sup>	611* <sup>※2</sup>
合計	1,346	1,341	1,223

(注)四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

\*1 2020年度は、国内活動のみ。

\*2 2021年度以降のカテゴリ15には、現 UBE三菱セメント(株)(旧建設資材カンパニー)に係るGHG排出量の出資比率分が含まれています。

### 部門別GHG排出量 2022年度実績

事業所	万t-CO <sub>2</sub> e		
	スコープ1	スコープ2	合計
化学部門	323	40	363
国内	236	11	247
タイ	60	28	88
スペイン	27	1* <sup>※1</sup>	28
機械部門	17	2	19
合計	340* <sup>※2</sup>	42* <sup>※2</sup>	382

(注)四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

\*1 外部からの購入電力は、再生可能エネルギーを使用。

\*2 ★印は第三者検証による保証を受けた数値です。詳細は保証書(P14掲載)をご参照下さい。

### 温室効果ガス種別排出データ

温室効果ガス種別	万t-CO <sub>2</sub> e		
	2020年度	2021年度*2	2022年度*2
CO <sub>2</sub>	1,041	339	314
CH <sub>4</sub> * <sup>※1</sup>	1	0	0
N <sub>2</sub> O	85	92	68
HFC* <sup>※1</sup>	0	0	0
PFC	0	0	0
SF <sub>6</sub> * <sup>※1</sup>	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0
合計	1,127	431	382

\*1 10,000t-CO<sub>2</sub>e未満。

\*2 2021年度以降のデータは、旧建設資材カンパニーを含まない集計データです。

CO<sub>2</sub>排出原単位(単位生産量当たりのGHG排出量)

	t-CO <sub>2</sub> e/t-Lc		
	2020年度	2021年度*	2022年度*
CO <sub>2</sub> 排出原単位	3.263	2.521	2.733

※2021年度以降のデータは、旧建設資材カンパニーを含まない集計データです。

エネルギー消費データ

	MWh/年						備考
	2020年度		2021年度*		2022年度*		
	合計	再エネ由来	合計	再エネ由来	合計	再エネ由来	
燃料の消費量	19,030,000	670,000	8,417,000	0	6,131,000	0	バイオマス
購入電力の消費量	840,000	60,000	800,000	176,000	629,000	160,000	再エネ電力
購入蒸気の消費量	1,050,000	0	1,425,000	0	1,079,000	0	
自家発(再エネ)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	太陽光発電
合計	20,920,000	730,000	10,644,000	178,000	7,841,000	162,000	

(注)四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

※2021年度以降のデータは、旧建設資材カンパニーを含まない集計データです。

燃料種別

エネルギー種別	MWh/年		
	2020年度	2021年度*	2022年度*
一般炭	16,170,000	6,963,000	5,144,000
灯油・軽油	370,000	263,000	157,000
LNG液化天然ガス	650,000	626,000	391,000
LPG液化石油ガス	130,000	138,000	129,000
石油コークス	520,000	0	0
重油	270,000	201,000	122,000
副生ガス・油	250,000	226,000	188,000
バイオマス	670,000	0	0
合計	19,030,000	8,417,000	6,131,000

※2021年度以降のデータは、旧建設資材カンパニーを含まない集計データです。

# 地球環境問題:水資源の有効活用・フロン排出抑制

## 水資源の利用状況

### UBEグループにおける水資源の利用状況(2018~2022年度)

集計範囲: UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社。詳細はP16に掲載。

			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
取水量(百万m <sup>3</sup> )	化学部門	上水道水	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
		地下水	2.0	2.0	2.0	2.2	2.0	
		工業用水	79	84	81	83	64	
		海水	105	114	107	115	302 <sup>*1</sup>	
		小計	186	200	190	200	369 <sup>★*2</sup>	
	機械部門	上水道水	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	
		地下水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		工業用水	0.9	1.0	1.0	0.9	0.8	
		海水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		小計	1.0	1.1	1.2	1.0	1.0	
	合計(UBEグループ)			187	201	191	201	370
	排水量(百万m <sup>3</sup> )	化学部門	下水道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			河川・湖沼	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1
			海域	140	156	145	152	342 <sup>*1</sup>
小計			142	158	147	154	345	
機械部門		下水道 <sup>*3</sup>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		河川・湖沼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		海域	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7	
		小計	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7	
合計(UBEグループ)			143	159	148	155	345	

\*1 自家発用冷却水(海水)含む。

\*2 ★印は第三者検証による保証を受けた数値です。詳細は保証書(P14掲載)をご参照下さい。

\*3 1万m<sup>3</sup>以下の排水量。

## フロン排出抑制法への対応

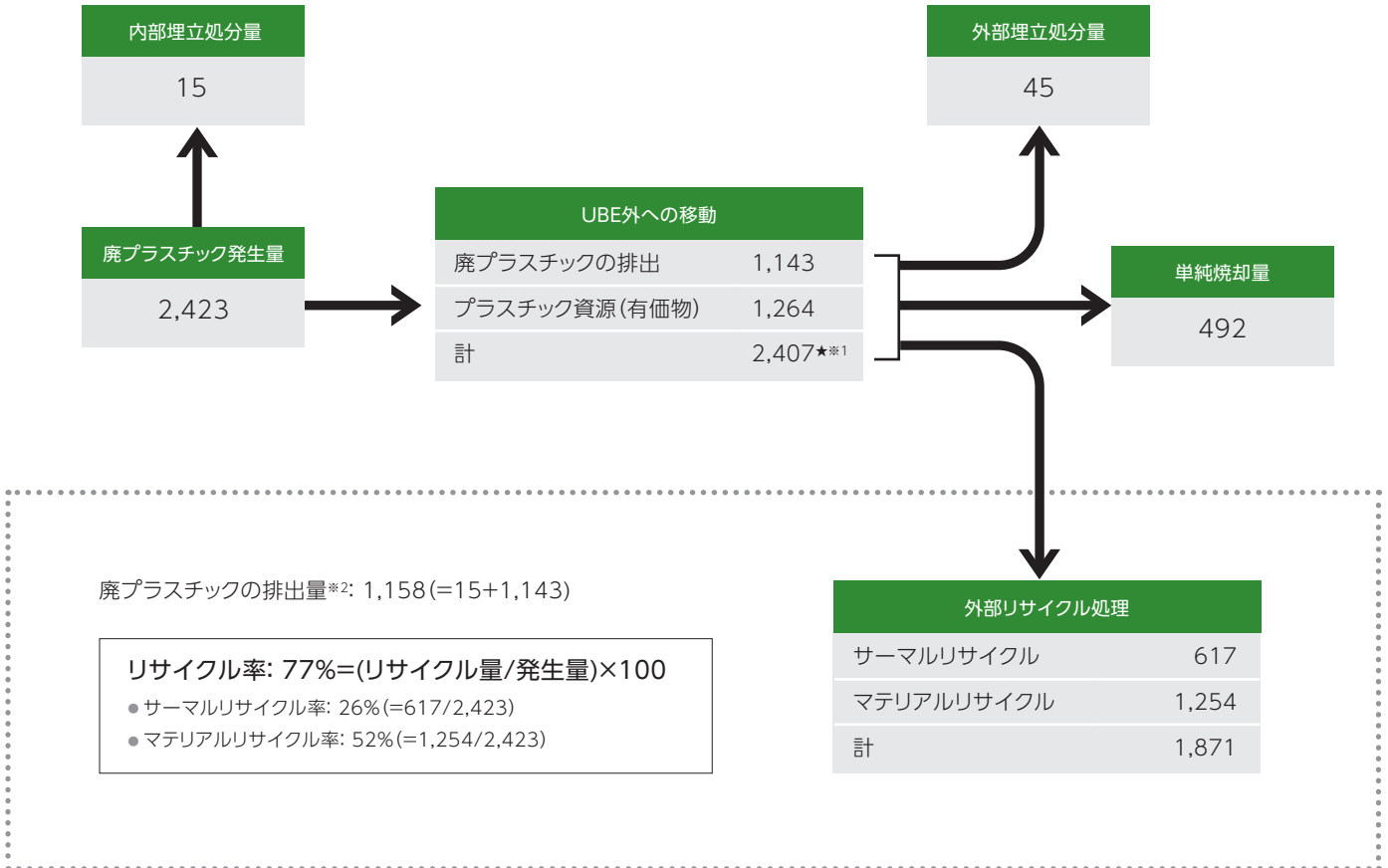
地球温暖化やオゾン層破壊を防止するため、フロン冷媒(CFC、HCFC、HFC)の漏洩抑制を目的としたフロン排出抑制法が2015年4月に施行されました。フロン冷凍機や空調機器の点検などの法規制を遵守し、さらにフロン類の回収・充填方法の改善や機器運転中の管理強化でフロン漏洩の防止を図っています。

また、プロセスで使用しているフロン冷凍機について、低GWP(地球温暖化係数 Global Warming Potential)のHFCもしくはノンフロンを冷媒に使用する機器への更新を計画的に進めています。

# 地球環境問題:プラスチック資源の循環

## プラスチック資源のフロー (UBE 2022年度実績)

(単位: トン)



※1 ★印は第三者検証による保証を受けた数値です。詳細は保証書(P14掲載)をご参照下さい。

※2 プラスチック資源循環法で算定対象となる社内での内部埋立処分、内部リサイクルを含む。

2022年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法では、廃プラスチックの排出抑制や再資源化等への積極的な取り組みが求められています。UBEでは、これまでプラスチック資源の有効利用に取り組んできており、2022年度は77%のリサイクル率を達成しました。今後、プラスチックの資源循環を、より一層促進していきます。

集計範囲: UBEの8事業所(堺工場、宇部ケミカル工場、宇部ケミカル工場藤曲地区、宇部電子工業部材工場、宇部研究所、医薬研究所、みらい技術研究所、大阪研究開発センター)